

2025年10月

25年度 評議委員会を開催

JCMTでは、5月16日に2025年度の評議委員会を開催致しました。24年度の実績報告の後、25年度の事業計画と予算案が承認されました。

25年度の計画の骨子は以下の通りです

- ①新規研修6名、再研修(短期)5名の招聘
 - ②インドネシアでのフォローアップ研修およびタイでの調査を一括実施
 - ③研修生と評議委員・医師等との交流会開催
 - ④研修生による協賛企業訪問を実施
 - ⑤ウェビナー(2講座)の開催する
 - ⑥協賛金は例年同様の規模でご寄付頂く
- 現時点まで計画通り、順調に進捗しています。

再研修に3名が来院

新規研修の復習、最新技術の習得等を目的とした再研修(約2週間)のため、6月に3名が来院しました。春期生と一緒に交流会にも参加しました。

尚、残る2名は10月に来院の予定です。

名前(呼称)	招聘元国	研修部門
Dr.ガンバ	モンゴル	消化器外科
Dr.アルウィン	インドネシア	脳神経外科 間脳下垂体外科
Dr.オイル	タイ	消化器内科

春期の新規研修を完了

5月25日から約2か月間のスケジュールで、3名の新規研修生を招聘しました。到着後2日間、AOTS殿で日本語研修を受講した後、虎の門病院の各部門で手術見学や討議参加等の研修を行いました。

名前(呼称)	招聘元国	研修部門
Dr.ガブ	タイ	消化器外科(上部)
Dr.イファス	マレーシア	間脳下垂体外科 脳神経外科
Dr.バット	モンゴル	消化器外科

JCMTは医療研修だけではなく、日本への理解の促進も目的としており、6月19日から2泊の奈良・京都研修旅行も実施しました。

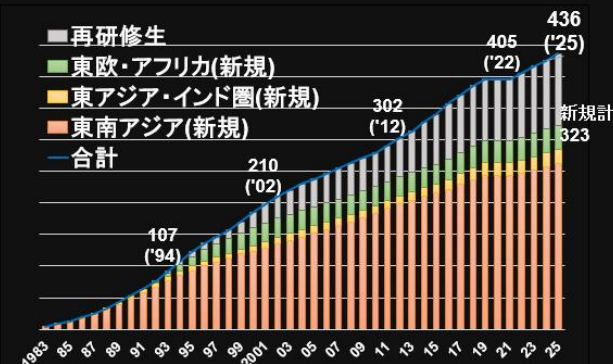


左からDr.バット、Dr.イファス、Dr.ガブ

JCMT事業開始以来の研修生の累積人数



JCMTは2025年までの42年間で、17カ国から323名の医師を“新規研修”に招聘しました。
”再研修”も含めた総数は436名にのぼります。



交流会は今年も盛会！

7月4日、春期と短期の研修生6名と評議委員、指導医師、事務局メンバー約40名による交流会が赤坂インターシティエアにて開催されました。

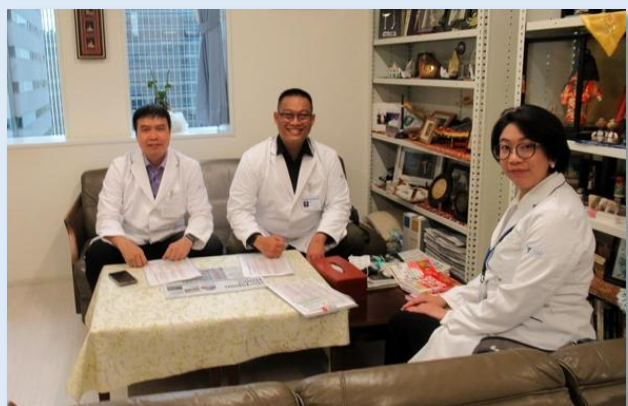
研修生からも積極的に日本の皆さんにアプローチし、あちらこちらで会話の輪ができました。研修生からはそれぞれの自己紹介の他、What a wonderful worldのメロディに乗せた、日本への思いと感謝の気持ちの歌が披露されました。



秋期の新規研修がスタート

秋期の研修生3名が9月7日に各国から集合し、2ヶ月間の研修に取り組んでいます。

名前(呼称)	招聘元国	研修部門
Dr.ビム	タイ	消化器外科(上部)
Dr.セノ	インドネシア	脳神経外科
Dr.ソン	ベトナム	泌尿器科



左からDr.ソン、Dr.セノ、Dr.ビム



タイ チョンブリ病院の一行が虎の門病院来訪

5月21日に虎の門病院ではタイ国立チョンブリ病院の訪問団を迎えました。同病院はJCMTの主要な提携先であり、これまで40年以上にわたり、32名の研修生を受け入れてきました。

訪問団は、Dr.Namphol病院長を団長とする15名で、主な目的は医学教育に関する調査と意見交換でした。虎の門病院では、森医学教育部長(JCMT評議委員)が当院の教育システムについて紹介し、門脇院長(JCMT評議委員)も交え意見交換を行いました。



下期の主な予定

- ・秋期の奈良・京都研修旅行(10月9日~11日)
- ・秋期研修生による、協賛企業訪問(10月20日)
(川崎近海汽船殿の貨物船“豊王丸”を清水港で見学)
- ・再研修生2名の受入(10月13日~10月25日)
- ・インドネシアでのフォローアップ研修およびタイでの調査(12月)
- ・ウェビナー(2講座)の開催(2026年1~3月)

JCMTは協賛企業殿のご支援により運営されています



虎の門病院 海外研修生事務局 03-3588-1111(内線3700)